

宮古島を来襲した台風0314号について（１） —気象学的特性について—

○林 泰一・村田 文絵・横木 研・石川 裕彦

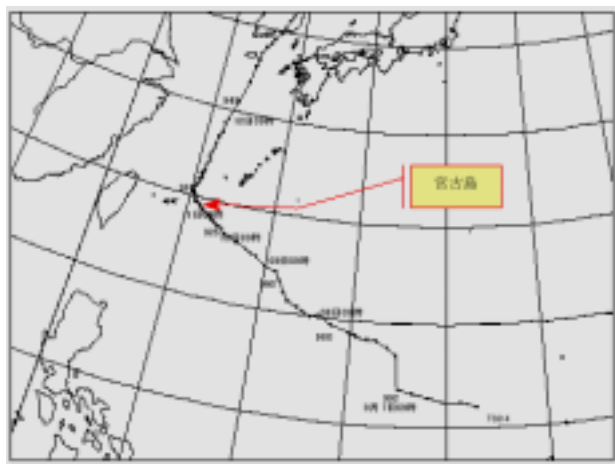
１．はじめに

2003年9月10日から11日にかけて、台風0314号が沖縄県宮古島を通過し、宮古島地方気象台では、瞬間最大風速 74.1ms^{-1} (風向北) を記録した。この記録は、気象官署での観測史上7番目に大きく、最低海面気圧 912hPa も史上4番目に低い値であった。宮古島はこれまでも1959, 1966, 1968年に大きな台風に襲われていて、これらの台風はとくに、宮古島、第2、第3宮古島台風と名付けられている。これらの台風と同じぐらいの強さを持った台風であった。防災研究所では過去の台風についても被害調査を実施しており、今回も建築研究所などと共同して現地調査を行った。

２．台風0314号の経路

台風0314号の経路を第1図に示す。この台風は9月6日15時にマリアナ諸島近海で発生し、北西に進み宮古島の南東海上で中心付近の最大風速が 55ms^{-1} の猛烈な台風になった。宮古島は10日17時頃から11日17時頃まで24時間にわたって、暴風圏に入った。

その後、台風は北北東に進んで13日には朝鮮半島に上陸した。

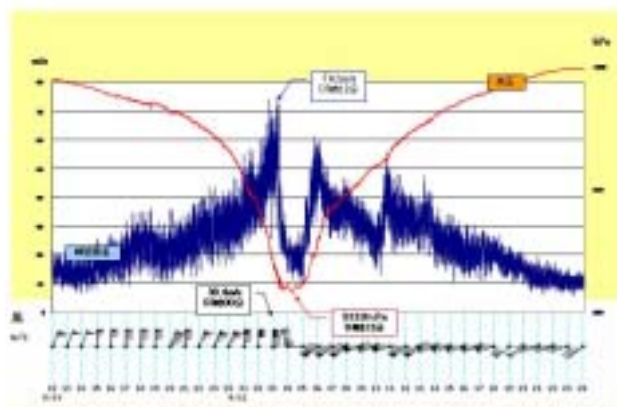


第1図 台風0314号の経路

３．地上気象要素

第2図には宮古島地方気象台で観測された地上気象要素(風向風速、気圧)の時系列を示す。午前3

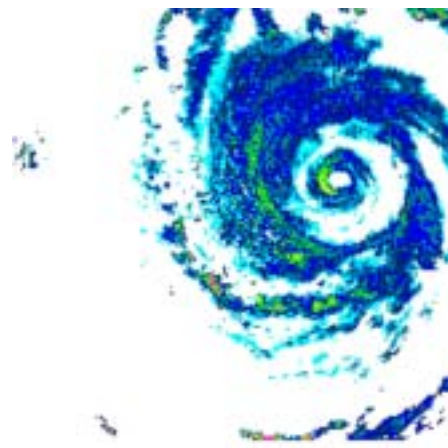
時半頃から約2時間あまり、風速が急激に弱くなり台風の中心が通過したことを示している。最低気圧は午前4時12分に 912hPa 、最大風速は中心が通過する前の午前3時00分に 38.4ms^{-1} 、最大瞬間風速は午前3時12分に 74.1ms^{-1} を記録した。特徴的なことは、台風の目の通過の際に、気圧の時系列に波動が見られること、台風の目の中心の通過後の5時間半後の午前11時頃に強風が見られることである。



第2図 宮古島地方気象台の海面気圧、風向風速の記録

４．気象レーダーエコー

石垣島レーダーで観測された、台風0314号の宮古島を通過中のレーダーエコーを第3図に示す。



大きな目の中心の中に、同心円状の雲が見られ、二重眼になっている。